

グローバル時代におけるICT政策に関するタスクフォース  
国際競争力強化検討部会

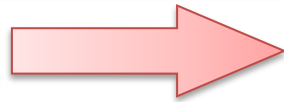
**最終報告書 概要**

---

平成22年12月14日

# 最終報告書の取りまとめについて

5月18日 中間取りまとめ  
(政策決定プラットフォーム)



## 主な反映箇所

	新成長戦略	新たな情報通信技術戦略(ICT戦略)
ICTグリーンプロジェクト	グリーン・イノベーションによる環境・エネルギー大国戦略	環境技術と情報通信技術の融合による低炭素社会の実現
「次世代社会インフラシステム」の国際展開	アジア経済戦略	オールジャパンの体制整備による国際標準の獲得・展開及び輸出・投資の促進
デジタルネイティブ世代のパワー等を活かした新事業の創出支援	科学・技術・情報通信立国戦略	若い世代の能力を活かした新事業の創出・展開
デジタルコンテンツ創富力の強化	知的財産・標準化戦略とクール・ジャパンの海外展開	コンテンツ強化を核とした成長戦略の推進 ※「知的財産推進計画2010」(5月21日知的財産戦略本部決定)
スマート・クラウド戦略	情報通信技術の利活用の促進	クラウドコンピューティングサービスの競争力の確保等

「新たな情報通信技術戦略(ICT戦略)」(5月11日高度情報通信ネットワーク社会推進本部決定)及び「新成長戦略」(6月18日閣議決定)に反映

平成23年度予算要求に反映

10月5日 最終報告書

### ■ 具体的施策の明確化

➢ 中間取りまとめで示された基本的な考え方や具体的プロジェクトに基づき、今年度以降取り組むべき具体的な施策を明確化。

### ■ 標準化戦略の検討(国際標準化戦略に関する検討チーム)

➢ 国際競争力強化検討部会にて示された基本的な方向性を受けて、技術的・専門的な見地から検討を行い、今後の標準化の重点分野、具体的な進め方、推進体制等について検討し、取りまとめ。

### ■ 工程表(別冊)の追加

➢ 上記具体的施策の実現に向け、達成目標・年限等を盛り込んだ「工程表(別冊)」を策定。

## I. 3つの基本理念

### ● ICTによる持続的経済成長の実現

グローバル市場の成長を取り込んだICT産業への転換

### ● 日本のICT「総合力」の発揮

「課題先進国」としての国際貢献

### ● グローバルな「協働関係」の構築

相手国と共に課題解決を図る人中心のシステム作り

## II. 重点戦略分野

### ①重点推進プロジェクト

#### ICTグリーンプロジェクト

- ▶スマートグリッド/スマートメータの推進
- ▶ICTグリーン関連システムのスケールアウトの推進

#### 「次世代社会インフラシステム」の国際展開

- ▶パッケージでのアジア展開
- ▶地デジ等主要通信インフラの国際展開
- ▶ICT利活用モデルの国際展開

#### デジタルネイティブ世代のパワー等を活かした新事業の創出支援

- ▶高度ICT人材の育成
- ▶デジタルネイティブ世代の活用
- ▶BOP層を対象とした国際展開

#### デジタルコンテンツ創富力の強化

- ▶Jコンテンツの発信力の強化
- ▶コンテンツの活用による経済活性化
- ▶デジタルコンテンツ流通環境の整備

#### スマート・クラウド戦略

- ▶「知識情報社会」と新たな経済成長を実現
- ▶「利活用戦略」「技術戦略」「国際戦略」の推進

### ②連携推進体制

#### グローバル展開推進体制の確立

- ▶ICTグローバル・コンソーシアムの構築
- ▶国際的なフォーラム(ISDB-Tインターナショナル・フォーラム)等の活用推進

#### アジア連携ネットワーク基盤の構築

- ▶研究開発環境・人材のグローバル化プロジェクトの推進
- ▶ネットワーク基盤の構築(「アジア光の道」構想)
- ▶「知識・言語グリッドプロジェクト」の推進

#### ファイナンス面での支援の充実・ODA資金の活用

- ▶政策金融制度の対象範囲・対象国の拡大
- ▶ODAを活用した社会基盤整備の総合的な推進
- ▶アジア高度人材ネットワークの形成

### ③技術戦略

#### 研究開発戦略

- ▶「グリーン」「ライフ」「未来革新技術」分野の重点プロジェクトの推進
- ▶研究開発の成果展開の推進

#### 国際標準化戦略

- ▶標準化活動に対する支援
- ▶標準化に関する重点分野

# 1. 3つの基本理念

## ● ICTによる持続的経済成長の実現・・・グローバル市場の成長を取り込んだICT産業への転換

- ICTは今後の経済成長を支える戦略的産業であり、グローバル市場の中で我が国ICT産業の国際競争力の強化を図ることが必要。
- 我が国の国際競争力は世界第21位。一方で、中国、インドその他のアジア新興国では、急速な経済成長・市場拡大が続いており、このようなグローバル市場の成長力を取り込んだICT産業の育成が急務。

## ● 日本のICT「総合力」の発揮・・・「課題先進国」としての国際貢献

- 我が国は少子高齢化をはじめとする様々な社会的課題について「課題先進国」であり、こうした課題は他国も共有するもの。このため、日本発の優れたプロジェクトを多数組成し、これをグローバル展開することにより、アジア各国等の課題解決に貢献することが可能。
- 新たな「課題解決モデル」をグローバル展開していくためには、これまでの企業や産業の枠を越えたオープンイノベーションを実現し、同業他社間、異業種企業間の連携により、ソリューション型プロジェクトの組成の他、企業の枠を越えた国際展開支援体制の整備、国際戦略ビジョンの共有化を図ることが必要。
- 「課題解決モデル」の組成に際しては、個々の要素技術や製品ではなく、オペレーションやマネジメントまで意識したトータルなシステムを構築し、そのグローバル展開を図っていくことが必要。
- また、政府はこうした民間部門の取組を積極的に支援し、官民一体となったグローバル展開を推進していくことが必要。

## ● グローバルな「協働関係」の構築・・・相手国と共に課題解決を図る人中心のシステム作り

- 日本の国際競争力を強化していくためには、単に日本の製品・サービスをグローバル展開するだけでなく、各国の実情を踏まえ、グローバルな「協働関係」に基づくシステム作りを目指すことが必要。
- その際、日本のこれまでの蓄積・強みを活かし、従来の供給サイドの視点に加え、消費者・利用者の視点を活かした「やわらかい」システム作りを重視することが必要。

## II. 重点戦略分野

### 重点推進プロジェクト

#### ICTグリーンプロジェクト

##### ・スマートグリッド/スマートメータの推進

➢ 関連技術の技術仕様等を策定し、国際標準・規格作りを進めつつ、アジアを中心としたグローバル展開を目指す。

##### ・ICTグリーン関連システムのスケールアウトの推進

➢ 環境負荷軽減策に関する我が国のベストプラクティス等の各国への普及を図るとともに、ICTグリーン関連システムを社会システムとしてパッケージで展開。

#### 「次世代社会インフラシステム」の国際展開

##### ・パッケージでのアジア展開

➢ 交通、物流、防災、教育等、ICTを組み込んだ具体的なグローバルモデルシステムを構築し、展開ロードマップを策定・実施。

##### ・地デジ等主要通信インフラの国際展開

➢ 地デジ・次世代ネットワーク・ワイヤレス等我国が強みを発揮しうる通信インフラ分野を強力に国際展開。

##### ・ICT利活用モデルの国際展開

➢ 国際貢献・国際協調の観点から、「アジアユビキタス特区(仮称)」等課題解決型モデルを積極的に展開。

#### デジタルネイティブ世代の パワー等を活かした新事業 の創出支援

##### ・高度ICT人材の育成

➢ クラウド技術を活用して、高度ICT人材を育成するとともに、海外の優秀な人材を招へい。

##### ・デジタルネイティブ世代の活用

➢ デジタルネイティブ世代の創造性を活用し、そのビジネス展開について積極的に推進。

##### ・BOP層を対象とした国際展開

➢ BOP層を対象とした事業創出のために必要な支援策について検討。

#### デジタルコンテンツ創富力の 強化

##### ・Jコンテンツの発信力の強化

➢ 「コンテンツ海外展開コンソーシアム(仮称)」に対する支援等、Jコンテンツの製作力・配信力を強化し、新しいコンテンツや事業の創出を図る。

##### ・コンテンツの活用による経済活性化

➢ 各地域においてデジタルコンテンツの活用と全国規模の相互交流を通じた経済活性化を実現。

##### ・デジタルコンテンツ流通環境の整備

➢ 健全なコンテンツ流通が可能な国内外の環境を整え、適正な利潤が得られる市場環境を整備。

#### スマート・クラウド戦略

##### ・「利活用戦略」「技術戦略」「国際戦略」の推進

##### ・利活用戦略

➢ ICTの利活用が遅れている医療、教育、農業等の分野でクラウドサービスの普及を支援。

➢ スマートグリッド、次世代ITS等にクラウドサービスを活用した社会インフラの高度化を推進。

##### ・技術戦略

➢ リアルタイムのストリーミングデータの活用、セキュリティ、環境を柱とする次世代クラウド技術を開発。

##### ・国際戦略

➢ クラウドサービスを巡る国際的なルール作りに向けたコンセンサスの醸成を推進。